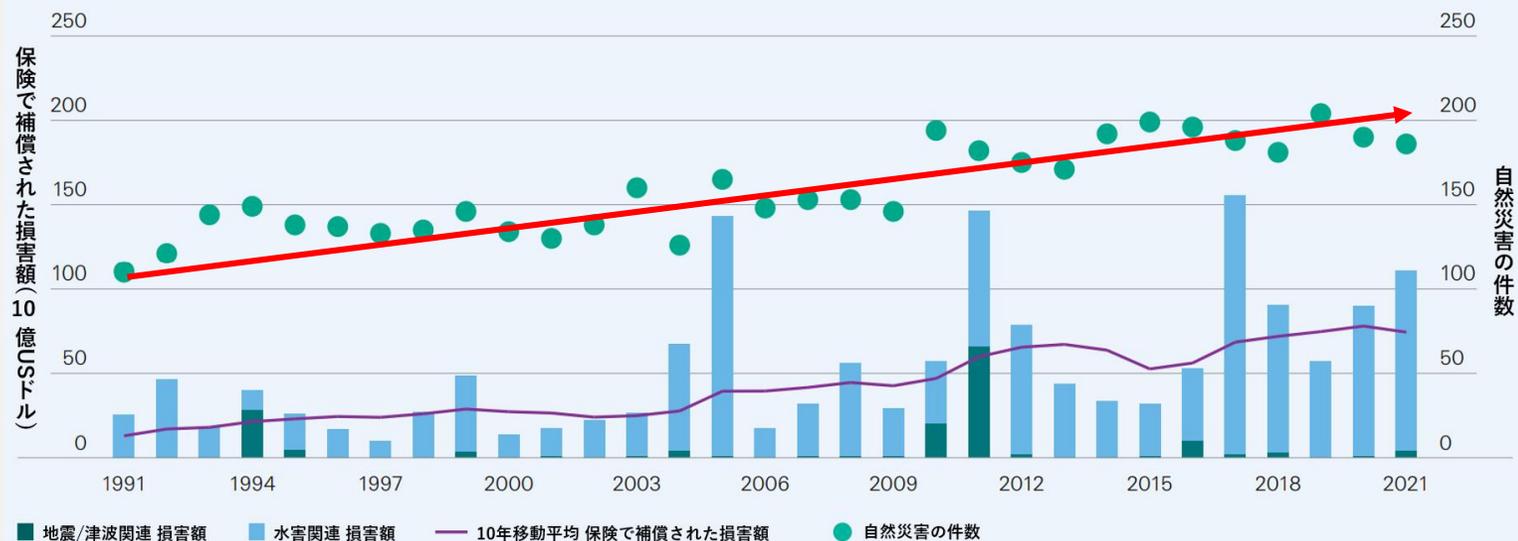


近年の自然災害激甚化/頻発化を受け、従前からの「緩和=“温暖化の原因抑制”」に加え「適応=“温暖化の被害抑制”」の両方へのニーズ/要望が強まっている。



(出典：Swiss Re Institute “Sigma”より一部スペクティ翻訳)

【グラフ：自然災害の件数及び保険で補償された損害額】

自然災害「件数」「損害額」
共に増加傾向

気候変動の影響が
いよいよ顕在化

緩和

- ・ 省エネ
- ・ 再エネ拡大
- ・ CO₂の吸収拡大(森林保全)
- ・ CO₂の回収/貯蓄

+

適応

- ・ 災害対策(防災/減災)
- ・ 感染症対策
- ・ 農作物の高温障害
- ・ 生態系の保全
- ・ 熱中症予防